

平成28年度事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

公益社団法人府中町シルバー人材センター

国は平成28年度予算について、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本哲学に、経済再生が財政健全化を促し、財政健全化の進展が経済再生の一段の進展に寄与するという好循環を目指す「経済・財政再生計画」の初年度予算と位置付け実施してきました。

また、超高齢化社会になり社会保障給付費の増大により、一般会計事業はマイナスシーリングで実施し、シルバー人材センターの補助金を減らさないことを眼目に国は高齢者活用・現役世代雇用サポート事業及び地域就業機会創出・拡大事業（派遣）を「労働保険特別会計雇用勘定」による補助金を確保し実施してきました。

シルバー人材センターの事業（以下「シルバー事業」という。）の内容が毎年変化する中、創意工夫し魅力あるシルバー事業に取り組んできました。

平成28年度事業は、平成26年度に作成した「第三次中期計画」の2年目になることから、国の補助金の動向を見極めながら、前年度の補助金を下回らないよう努めました。特に、地域就業機会創出・拡大事業（府中町子育て応援団・団塊の世代を活用する「府中町歴史発見カフェの運営」・高齢者の引きこもり対策及び認知症予防事業セラピーサロン事業）を国に再提案し、また、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）について、引き続きコーディネーターを配置し、前年度の水準を下回らないよう努めました。会員が企画運営する事業や研修会を推進し、会員の事業意欲を喚起しサービスの向上に努めました。また、自主財源の確保を図るとともに、経費の節減を行い、財政基盤の確立に努めました。会員の皆様の努力によって平成28年度の当期経常増減額の単年度ベースで262,792円の黒字になりました。正味財産期末残高としては26,066,631円で、この黒字部分は収支相償の考え方に基づき、特定費用準備資金積立（刃物を研ぐための倉庫の設置）と財政運営資金積立資産準備金として積立てをします。

会員数は、普及啓発に伴う入会促進のチラシ等を2月～3月に新聞折り込みにより24,000部を配布し、会員の増強に努力した結果、前年度末より1人の増員となりました。

受託事業収益の内の受取配分金は117,788千円で前年度と比べて3,406千円の減額となっていますが、派遣賃金が17,163千円あることから、配分金及び派遣賃金を合計すると、前年度より約1,155千円の増額と

なっています。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」に基づき、つぎのように取り組みましたので、ご報告申し上げます。

(1) 事業運営の健全化と組織体制の強化

公益社団法人として、公益性を重視した事業運営に徹し、公平・公正透明性のある事業運営を推進しました。

また、派遣事業を推進するため業務係兼派遣コーディネーターを配置し、将来を見据えた体制づくりに努力しました。職員を採用し業務係兼派遣コーディネーターとして業務を推進しました。

国や自治体からの補助金を有効に活用し、役・職員を始め口コミによる会員の受注活動を積極的に推進し、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）を推進し、介護育児支援業務や地域における人手不足分野等への取組みを拡大しました。

また、適正就業のガイドラインについてパンフレットを活用し会員や発注者へセンターの就業形態を説明し指揮命令が必要な業務について派遣事業に切り替え、就業機会の適正化の推進に努めました。

(2) 会員の増強

シルバー人材センターの基盤である「会員の拡大」に力を注ぎました。会員の拡大については、全シ協から既に「会員100万人達成のロードマップ」として、平成29年度末に「100万人」を達成すべく通知を発出しています。第三次中期計画の会員数を目標とし、一般家庭を対象として福祉・家事援助を始めとする地域貢献ができる事業展開を図り、女性向けの就業機会の確保と女性会員の入会促進に努めました。

特に、国において平成26年6月の国会で改正介護保険法が成立し、そのうち、要支援1, 2に対する訪問介護サービス及び通所介護サービスは市区町村が実施主体となる「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行し、当該事業の受け皿となる団体は必ずしも介護専門事業所に限らず、いわゆる多様な団体でのサービスが実施可能になることから、平成27年度から既に事業を移行した福山市シルバー人材センターの現状と課題について、役員の先進地視察を実施しました。今後、協議体としてどのように参画できるか、町の職員と検討をしました。

また、各種イベントに積極的に参加し、センターの普及啓発を行い、正会員・特別会員の増強に努めました。

(3) 普及啓発活動の強化と実践

ホームページの内容等の充実を図りました。

年1回の「安芸府中シルバーだより」をより読み易くし、町内全戸に配布し、事業紹介を中心に情報の提供を行いました。また、会員の自発的なボランティア活動を通して、シルバー人材センターの地域社会での存在価値を高めるとともに、普及啓発に努めました。

(4) 就業機会の拡大と就業場所の確保

就業機会の創出のため個人、民間事業所、公共機関へ巡回や訪問を行い、発注先からの受注金額を増やすとともに、会員に適した就業開拓に努めました。この他会員一人ひとりが就業開拓員として、地域において口コミによる仕事の発掘に努めました。

(5) 地域就業機会創出・拡大事業の取組

国等からの補助金を有効活用して、府中町と連携を図りながら、子育て支援事業、観光事業、介護予防分野などに取り組み、高齢者の地域貢献を就業機会の創出を実現しました。また、改正介護保険制度への参入を目的とした取り組みについて、介護予防事業として、高齢者筋力向上トレーニング、認知症予防オレンジサロン（メンズサロンを含む）、高齢者の見守り事業、健康マージャン教室、高齢者軽度生活援助などについて拡充を行い引き続き実施しました。また、新しくセラピー農園を開園し、広島都市大学、種苗者等と新しい認知症予防事業を行うとともに指導者の養成を図りました。

(6) 安全適正就業の推進

安全就業の確保は、センター事業の運営上、最優先課題です。

安全就業対策推進計画に基づき、安全巡回指導・パトロール、安全講習会を実施し、安全対策の意識の高揚に努め、事故が多い就業を重点的に安全巡回、また、研修を実施しました。

(7) 社会参加活動の推進

地域のボランティア活動、各種関係行政機関のイベント活動への積極的な参加を図り、シルバー事業の啓発活動を実施するとともに、地域社会への貢献を推進しました。

また、不審者から子どもを守るために、会員が登下校中の子どもの見守り活動に協力しました。